

地域住宅生産者グループ 杜の家づくりネットワーク

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
これからの宮城の住まいを提案する「杜の家」	宮城県全域

グループの特徴とメッセージ

「杜の家づくりネットワーク」は、林業家、製材業、大工などの職人、メーカー、工務店、建築家が職種を越えて自主的に集い、1999年の発足以降、「木の家」にこだわり、宮城県産材を使用した家づくりを積極的に推進してきました。

一般の方も参加する年2回の「森林見学会」を十数年間継続して主催し、森林や環境への理解を深めるなど、宮城の風土、歴史に調和した家づくりの啓蒙、普及活動を行い、メディアにも取り上げられています。

又、先人の知恵や工夫を学び、知識や技術の向上を図る月例の勉強会「木考塾」を通して、情報共有や自己研鑽に努めています。

宮城の復興の一助となれるよう、一丸となって取り組んで参ります。

グループの基本情報

グループ名称	杜の家づくりネットワーク
所在地	仙台市青葉区八幡 1-10-14 SAU04
結成年月	1999年7月
グループ形態	任意団体
主たる業態	林業、製材業、建設業、メーカー、設計業等
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計 23 社 原木供給 : 2 社 製材 : 3 社 建材流通 : 2 社 プレカット : 1 社 設計 : 7 社 施工 : 8 社
代表者名	佐々木文彦(有限会社ササキ設計代表取締役社長)
主な受賞歴・活動内容等	平成 17 年宮城木造住宅コンクール優秀賞。平成 19 年日本木材青壮団連合会木材活用コンクール住宅部門賞。平成 20 年宮城木造住宅コンクール特別賞

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,200~2,000 万円
価格の基準面積	80 m ² ~120 m ²
価格に含まない項目	地盤補強工事費、外構工事費、設計料、諸手続費等

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。
詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績（年間）

建設戸数*（木造戸建）	63 戸
うち地域材活用の住宅	24 戸
うち長期優良住宅	5 戸
グループとしての施工実績	無し
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	40 戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	500 万円以上の大～中規模リフォーム工事を 24 戸程度受注（年間）

*参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

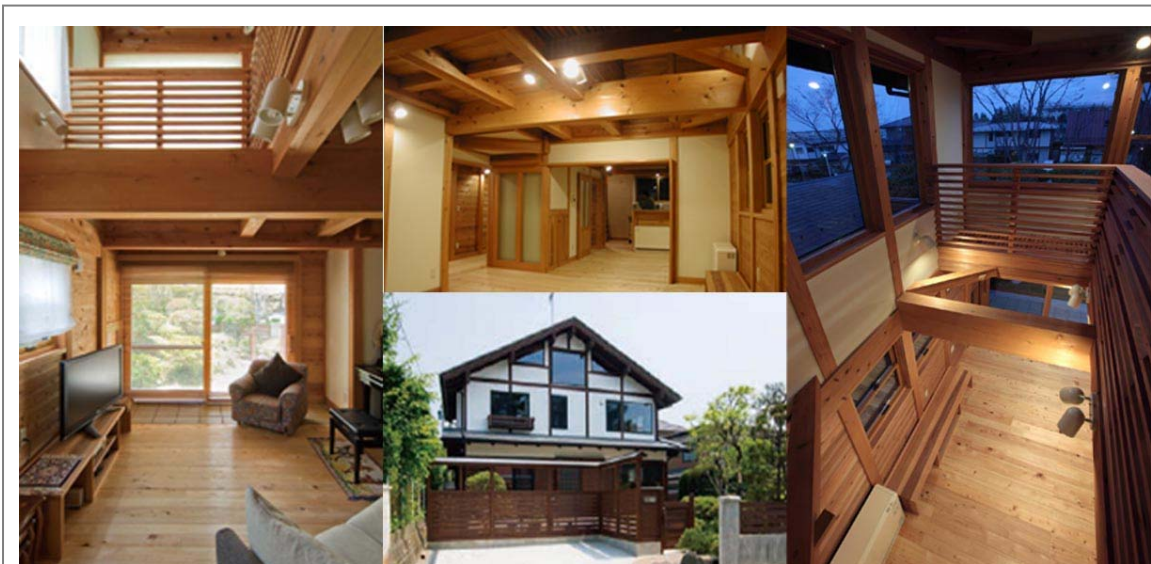
担当者名	佐々木文彦	メール	sasaki@sasakisekkei.co.jp
電話番号	022-268-6578	F A X	022-268-7164
ホームページ	http://www.sasakisekkei.co.jp/		
自由記入欄	お気軽にご相談下さい！		

これからの宮城の住まいを提案する「杜の家」

地域型復興住宅のイメージと特徴

■自然素材を使用したユニバーサルデザインの家

- 無垢の木や漆喰などの自然素材を使用し、清々しく、明るく、暖かく、落ち着く家となるようなデザインを心掛けます。
- 高い施工精度が要求される、柱や梁などの構造材を現しにしたデザインもご提案可能です。
- 様々な世代や状況の暮らしに対応した、ユニバーサルデザインの設計を行います。



代表的事例の概要

構造	木造落とし板（工法	床面積	1階：95.23 m ² 2階：54.18 m ²
設計	(有) ササキ設計	施工	(株) クレア平塚
施工費	2,950 万円（設計費用は除く）	備考	延床面積:149.41 m ² (45.19 坪)

設計方法や地域材活用に関する特徴

■顔の見える関係で納得の家づくり

・ 杜の家づくりネットワークに参加する建築士事務所は6社です。若手から熟練まで幅広い世代により構成され、管理建築士の全員が一級建築士ですので、長期優良住宅の設計や認定手続きに迅速に対応します。

・ 山側と消費者が顔の見える関係を築くために、一般の方も参加する「森林見学会」を、引き続き、定期的を開催していきます。

主に活用している地域材について

地域材の名称	宮城県産杉材
樹種	杉など
産地	宮城県
認証制度等	宮城県産木材証明書
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では、宮城県産の杉材などをふんだんに活用した住宅を供給します。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■安心・安全な住まいのために最低限行うこと

- ・ 耐震等級2以上または免震建築物とすることで、極めて稀に発生する地震に対し、継続利用のための改修の容易化を図り、損傷のレベルの低減を図ります。
- ・ 次世代省エネルギー基準（省エネルギー等級4）に適合する省エネルギー性能を確保します。
- ・ 構造躯体等に影響を与えることなく、配管の維持管理を行え、耐用年数の短い内装・設備について、更新時の工事が軽減される措置を講じます。
- ・ 数世代にわたり住宅の構造躯体が使用できるよう、劣化対策等級3相当に加え、床下及び小屋裏に点検口を設置し、床下空間には330mm以上の有効高さを確保します。
- ・ 良好な居住環境を確保するため、最低75㎡以上の住戸面積を確保し、少なくとも1の階の床面積を40㎡以上確保します。

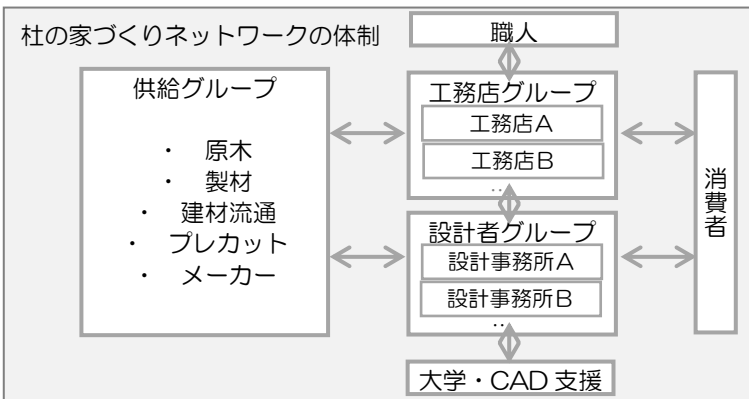


地域住宅生産者グループ 杜の家づくりネットワーク

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■産地と手を組んだ体制

- ・南三陸地域、津山・登米地域、石巻地域、栗駒地域の森林組合より宮城県産材を調達、日本全国で9社しか導入が許されていない低温乾燥設備を持つ「丸平木材(株)」をはじめ、「(有) 宍戸材木店」、「(株) 菅幸材木店」、「(株) ホーム建材店」、「(株) 山大」が連携し、製材、乾燥、プレカットを行い、需要に見合う供給体制を構築します。



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■相談体制

- ・無料の相談会を開催するほか、グループに参加する建築士事務所に、随時、電話やメールでご相談可能です。
- ・相談会の日時や場所については、杜の家づくりネットワークの公式ホームページ等で告知を行います。



■きめ細かい維持管理

- ・住宅瑕疵担保履行法に基づく保険へ加入します。
- ・構造耐力上主要な部分、水の浸入を防止する部分、給水・排水の設備について、点検の時期や内容を維持保全計画に定め、少なくとも10年ごとに点検を実施します。
- ・住宅履歴情報を作成し、維持管理に関する情報を記録します。

